

補正予算

6月定例会で行われた補正予算の歳出の主なものは、総合行政システム等改修委託料1269万円、コミュニティ助成事業助成金250万円、北海道新幹線高架下整備事業費4500万円、道南ドクターヘリ運航経費負担金37万円、木古内駅売店運営補助金169万円、X線装置購入費1360万円などで、次のような審議が行われました。

一般会計

ドクターヘリ運航経費 なぜ変わったのか

竹田議員 2ヶ月しか経過していないのに、運航実績で負担額の見直しをしなければならぬ根拠を説明願います。
大野副町長 各町の均等割・利用割について、道内の先行事例を基に事務局（函館市）が提

案し、2ヶ月前に決定されましたが、実際に運航してから、疑問点が生じ見直し提案がされました。

一例でいいますと、ヘリコプター乗務員の着衣の補充品があり、本来参加自治体全体で負担すべきものであるとし、利用割から各町全体で負担する均等割に変更されました。

福島議員 事務局で決まったことなので仕方ないことですが、同様な追加補正は今後も出てきそうですか。
大野副町長 ドクター確保における人件費の増額はやむを得ない部分はありますが、それ以外の必要経費などは、今後も事務局からの提案を、精査しながら、対応したいと考えています。

新幹線高架下整備 活用方法は

竹田議員 新幹線高架下整備について、事務局調査で整備の内容についてはおおよそ把握しておりますが、変更点

と整備後の活用方法を教えてください。
福田まちづくり新幹線課長 当初はアスファルト舗装を見込んでおりましたが、新幹線駅の顔になることから、インターロッキングブロック施工（※1）になりました。

また、活用方法等については、新幹線駅を出て木古内町のはじめで見える空間になるということで、夏場はこのまま解放して憩いの場としての活用を考えます。冬場は、除雪することは困難なため、シエルターでの通路確保が役割になります。

コミュニティ助成 詳細説明を

福島議員 下町町内会踊り山の放送設備の更新及び修繕等ということですが、助成金の金額の根拠を説明願います。

福田まちづくり新幹線課長 北海道振興会から助成される事業で、上限が250万円となっており、交付申請し

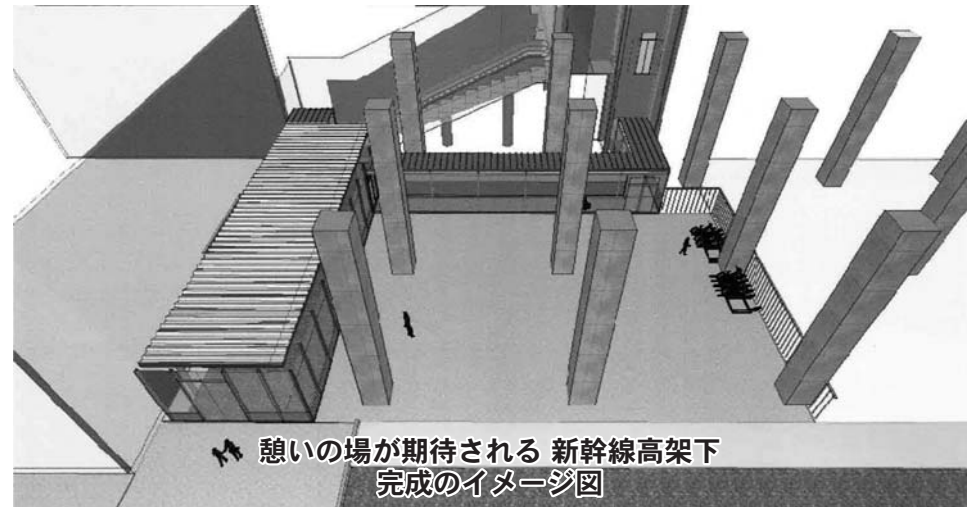
決定されたものです。
平野議員 助成金申請に係る経過を説明願います。

国民健康保険病院 事業会計

X線テレビ装置の故障 メンテナンス状況は

新井田議員 X線装置の故障による補正ということですが、経過年数が17年でメンテナンスが年1回行っているとの説明でした。年1回のメンテナンスが、適正なのか説明願います。

平野病院事業事務局長 メンテナンスは、稼働状況により費用対効果を考慮して点検回数を決定しています。毎日稼働するものは、年4回、今回提案した外科用X線装置については、月1回程度の使用となっております、オペ前



憩いの場が期待される 新幹線高架下
完成のイメージ図

（※1）インターロッキングブロック施工…このブロックで施工した舗装は、雨水が地面にしみ込みやすく、都市型水害や地盤沈下を緩和する効果があり、景観性に優れた舗装です。

には確認をしており、年1回の定期点検で対応しております。
竹田議員 修繕は装置が古くて部品が難しく、更新するのとことです。新しく導入するものは、最新の機能があるX線装置ですか。

小澤病院事業管理者 購入する装置は、今までと違い画像をコンピュータに入れることができ、心臓カテーテル検査にも対応できる鮮明な画像も追加されるなど、かなりグレードアップし、記録性に優れています。